



社協だより

102

2019.3.22発行

住みたいまち大刀洗 住んでよかった大刀洗町



～春になりました～

大堰保育園の子どもたち、梅の花を見にお散歩に行きました。



今号の主な内容

- 平成30年度地域福祉講座報告
「地域共生社会」の実現に向けて、私たち（地域・住民）に求められること
- 平成30年度共同募金・歳末見舞金配分結果
生活支援体制整備事業のページ
「それぞれが“できる”ことを！」
- 笑顔キラキラ☆保育園だより
- ミニデイだより
- 第三者委員会報告

■ 社会福祉法人 大刀洗町社会福祉協議会

〒830-1201 大刀洗町大字富多819
TEL/0942-77-4877 Fax/0942-77-6220

■ 大堰保育園

〒830-1205
大刀洗町大字守部465-5
TEL/0942-77-1402

■ 本郷保育園

〒830-1211
大刀洗町大字本郷899-1
TEL/0942-77-2220

URL <http://www.tachi-shakyo.or.jp>

巧妙な悪徳商法に
注意しよう！
(P6に関連記事)



この社協だよりは、共同募金の配分金より発行しています。

「地域共生社会」の実現に向けて、 私たち(地域・住民)に求められること

講師：ローカリズム・ラボ 代表 井岡 仁志 先生
日時：平成31年3月9日(土) 参加者：93名

今年度の地域福祉講座は『地域共生社会』をテーマに、ローカリズム・ラボの井岡仁志先生をお招きし、講演をいただきました。



「地域共生社会」の実現に向けて、 今社会はどうなっているのか

明治時代から100年間で3倍に増えた日本の人口は、これから100年かけて1/3に減少していくと言われています。ここで心配されるのが、高齢化を伴った人口減少と世帯の縮小化・単身化です。これは、家族の中で助けあう力が弱くなってきているということ。地域包括ケアシステムが2025年問題を言っていますが、団塊世代が80歳以上にな

る2040年を見据えて、今の高齢者はどうするのかという近視眼的な発想でやるのではなく、団塊ジュニアも含めて20年先30年先を見据えた大刀洗町をどうするのか、支えあうまちをどう作るのかということとを各市町村ごとに自分事として考えていくということが、地域包括ケアの本質です。だから、人口減少社会を考えると『超高齢化』『支え手の減少』『あらゆる世代の単身化孤立化』こういったことが内包された人口減少社会だということ

です。また、こういったことを背景に、もうすでに起こっている『ごみ屋敷』『8050問題』『老老介護』『引きこもり』など、実は地域社会の中では見えにくい問題であり、非常に深刻な『孤立』を背景とした問題がすでに起こっており、福祉の専門職はそれを分かっているが、専門職だけでは解決できない問題が起こっている。そこをどうやって支えていくかということをおもひながら考えていかなければならない。

このような社会背景の中で昨年は西日本豪雨災害が起こり、その前は九州北部豪雨災害が起きました。こういった災害などの問題も重なって、問題が重度化していくということが起きています。

今のようなことをまとめて言うと、我が国の福祉課題の2大潮流(トレンド)というのは『人口減少・少子高齢化』と『社会的孤立・格差』が広がっているということです。このような流れに対し国は『地方創生』や『地域包括ケアシステム』『生活困窮者自立支援事業』、『社会福祉法人の地域における公益的な取り組み』などが平成26年から立て続けに政策を出してきています。こういったことをバラバラにするのではなく、一本横串を通しながらやっていく『地域共生社会』というキーワードが今出てきています。地域共生社会の実現はいわゆる『理念』であり、皆さんが住む『大刀洗町』が目指す地域共生社会とは何かということ、地域の皆さんも、行政も、社会福祉に関わる仕事をされている方も、みんなで考えてやっていくということが『地域共生社会』という言葉に込められている、それを具体化していくためにも『地域福祉』をしっかりやっていくということが今重要になってきているということです。

高齢者の地域包括ケアと云ってありますが、高齢者問題だけでなく、地域ぐるみで支えていく仕組みと考えて、障害者や生活困窮世帯、子どもや子育て世帯など、全てをひっくるめた総合的な仕組みづくりや、支え合う体制づくりが求められています。また、それをやっていくためには、制度や施策だけでは無理。それは課題が複合化していたり、制度だけでは対応できない「狭間」の問題が今出てきているからです。そこで『土台としての地域力の強化』が必要であり、地域に住んでいる住民の方だけが『地域共生社会』をやるのではなく、制度や政策を担っている福祉の専門家や行政も含めて一緒にやっていかなければ地域共生社会の実現には至らない。そのためにも住民の力が土台にならないといけないということ、地域共生社会を実現するためには重要になってきます。

だからと言って新しい活動を始めていくということではなく、大刀洗町においては、今やっている活動をいかに拡げていくのか、ということをおもひながら話し合いながら進めていくことが今後必要ではないかと思えます。

次回、みんなで参加する、住民福祉活動の「いろは」につづく

平成30年度(平成31年度事業)共同募金B枠配分結果報告

配分額 3,345,600円

単位：円

	事業名	配分先	本年度配分額
1	独居老人味噌配布事業	大刀洗町女性の会	180,000
2	老人クラブ助成金	大刀洗町老人クラブ連合会	100,000
3	老人クラブスポーツ助成金	大刀洗町老人クラブ連合会	100,000
4	身体障害がい者福祉協会助成	大刀洗町身体障害がい者福祉協会	100,000
5	保育園福祉推進事業	町内保育園	250,000
6	福祉協力校助成事業	町内小中学校	250,000
7	ミニデイサービス事業	大刀洗町社会福祉協議会	1,275,600
8	社協だより配布	大刀洗町社会福祉協議会	730,000
9	車椅子バスケット大会支援	ひばりカップ運営委員会	50,000
10	母子寡婦福祉会助成事業	大刀洗町母子寡婦福祉会	70,000
11	障がい児を抱える親の会支援	障がい児・者親の会	30,000
12	声の広報事業支援	ナレーションサークル風	10,000
13	配食ボランティア青い鳥活動助成金	配食ボランティア青い鳥	200,000
合計			3,345,600

平成30年度歳末見舞金配分結果

募金実績 802,000円

単位：円

見舞金配分先	人数	金額	合計
ひとり暮らし高齢者(平成30年4月1日現在70歳以上の非課税世帯)	196	3,000	588,000
在宅重度心身障がい児(障害児福祉手当受給者)	7	3,000	21,000
合計	203		609,000

地域配分先	件数	金額
障がい者当事者及び家族の会「語ろう会」活動支援	1	30,000
点訳ボランティア「凸凹の会」活動支援	1	35,000
「折り紙サロン」活動支援	1	20,000
手話サークル「ひばり」活動支援	1	10,000
施設ボランティア「折鶴の会」活動支援	1	10,000
子ども見守り隊	1	53,460
小学校もちつき大会支援(町内各小学校)(次年度実施事業)	4	32,000
共同募金B枠配分金へ繰り入れ	1	2,540
合計	9	193,000

ご協力ありがとうございました!



誰もが安心して暮らし続けるために・・・

それぞれが“できる”ことを！



昨年12月、地域で活動されているみなさんをはじめ、町内の各事業所（自営業をされている方、企業や施設などに所属されている方）が、お互いの存在や活動を知り、**それぞれの立場からできることを考えていくための情報交換の場**として、「地域が“つながる”情報交換会」を開催しました。

今回は、「地域が“つながる”情報交換会」をきっかけに、つながった取り組みを紹介します。



高樋区長
田原 英明 さん

カラオケ教室で借りている機材をもっと活用できたらいいな。

この話を聞いた、くましろ・ほんごう館の職員さんより、「うちの施設で披露してもらえませんか？」とお声がかかり、田原さん、山田さん（カラオケの先生）、村田課長（地域振興課）の3人で施設訪問し、歌声を披露されました。

懐かしの歌に利用者さんも手拍子を打ち、喜ばれている様子でした。



社会福祉法人 慈愛会
富松 一教 さん

地域で何かお役に立てることがあれば、お手伝いさせていただきたいです！

慈愛会の地元、菊池校区内で行われている様々な活動の話を聞き、「山隈健康クラブ」に参加いただくことになりました。みなさんと一緒に体操をしたり、麻雀を教えていただいたりしています。麻雀の先生も増え、参加者のみなさんも喜ばれています。



小郡警察署 生活安全課長
牟田 浩文 さん

詐欺の手口は進化しています。集まりの場に出てこない人へ情報を伝えたい！

この話を聞いたセブンイレブン大刀洗本郷店さんより、「私たちは、買い物に行くのが難しい方たちへ配達をしているので、チラシなどがあれば、一緒にお渡しできますよ。」とお声がありました。

そこで、小郡警察署（生活安全課）、健康福祉課、産業課、地域包括支援センター、社会福祉協議会で話し合い、啓発のチラシを作製し、配布しました。





おにさんかわいい!



最後まで
がんばったよ!

大堰保育園



歩くのだいすき!

4月に入園してきて、1年!
ハイハイだった子どもたちも、こんなに
歩けるようになりなりました。

笑顔キラキラ☆ 保育園 だより

本郷保育園



美味しい給食任せ
としてね!

月日が経つのは早いもので、子どもたちは
卒園・進級とワクワク・ドキドキの毎日を迎
えています。園の生活で子どもたちが一番好
きなものは給食。3月は「リクエスト給食」と
いって、年長さんが今までで一番おいしか
ったメニューを出し合い給食の先生に作って
もらいます。おなかの中においしい思い出をい
っぱい詰め込んで卒園していくのかな～。

お店屋さんごっこ
も盛んです!



「さあいらっしやい
いらっしやい こっ
ちは美味しいよ!」

ミニデイだよ!

今年度のミニデイでは、地域包括支援センター扮する「にやり座」に役場産業課の方が加わり、身近で起きている悪質商法の事例について注意喚起が行われています。

- ・自ら足を運んだ先で購入した商品は、クーリングオフできない
- ・警察や銀行の方が連携して、電話→訪問→通帳の預かりはありません
- ・その場で決めず、家族や知人に相談しましょう



近頃の悪質商法は手口が巧妙化しており、気づくことが困難なケースが多発しています。周囲の方の気づきも必要なことがあります。「あら?高額物品が」「見知らぬ人(車)が出入りしているな」・・・どうぞ暖かい目配り・気配りをお願いします。

第三者委員会における苦情解決結果の報告

去る3月6日(水)第三者委員会を開催し、平成30年11月から当日までの状況として苦情・要望等が数件ありましたが、保育園と社会福祉協議会で検討し、問題解決結果を報告しました。

平成30年度後期(11月～3月)苦情やご意見等受付総括表

内 容	解 決 結 果
○職員の対応について(1件)本郷保育園 ・保育士への指導について (管理職が保育士を大声で指導しているのを保護者が目撃した。) ・事務所の雰囲気について	・聞き取りを行い、指導方法や対応を考慮することを本人が了承した。 ・指摘点を事務所の中で共有し秩序をもって仕事をする。
○園児への対応について(1件)本郷保育園 ・園児への指導の仕方 (保育士の注意の仕方が園児を怖がらせた。)	・保育園内で研修を実施し、今後はこのようなことが発生しないよう努める。 ・外部研修に参加し、職員の保育に対する質の向上に努める。

苦情の受付は面接・電話・書面などにより苦情受付担当者が随時受け付けます。また、第三者委員に直接苦情を申し出ることもできます。

苦情解決責任者	大 浦 克 司 (社会福祉協議会 事務局長)	Tel77-4877
	長 野 美 子 (大堰保育園園長)	Tel77-1402
	野 田 ひとみ (本郷保育園園長)	Tel77-2220
苦情受付担当	池 松 昌 亀 (社会福祉協議会 地域福祉係長)	Tel77-4877
	松 熊 美 紀 (大堰保育園 主任保育士)	Tel77-1402
	矢ヶ部 美由紀 (本郷保育園 主任保育士)	Tel77-2220
第三者委員	青 木 善 次 (社会福祉協議会 評議員)	Tel77-0678
	平 城 悦 子 (主任児童委員)	Tel77-0158
	林 安 重 (学識経験者)	Tel77-1044

(任期:平成29年4月1日～平成31年3月31日)